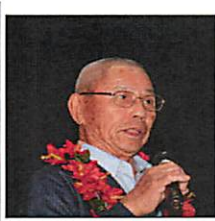


# あさみ会報

朝見まちづくり協議会 あさみ会報編集部

松阪市大宮田町 209-4  
朝見地区市民センター内  
電話 0598-52-0007

2013.02.28 発行  
第 41 号



## アンコール 大賞



**第6回朝見地区ふれあい芸能大会**  
平成24年10月20日(土) 19時朝見小学校体育館にて開催。今回の芸能大会にご寄付を頂きました篤志家の皆様、大変にありがとうございました。第一産業(株)・中尾木材(株)・さくらテラス・葵クレイン・奥村農産・田村正・ススキ産機(有)・JA松阪農機センター・ヤマト電気・宝山石油(株)・北川鉄工建設・加藤製麺・小林ファーム(株)・東部建設

=ダイジェスト版=

### 災害時協力企業(事業所)の紹介

《朝見地区内の各事業所と災害時の救出作業の協力協力を行っています》

(大宮田) 茂谷工務店・大徳建設株式会社・上川運送株式会社・JA 松阪農機センター (下七見) 東部建設株式会社 (朝田) 株式会社北川鉄工建設・葵クレイン (佐久米) 小林ファームライスセンター (立田) 宝山石油株式会社・中尾木材有限公司・株式会社ミック・株式会社ミック・鍛冶春建設有限公司・さくらテラス (古井) 有限会社松井工務店・榊産業有限公司・エムエフマツモト有限公司・岡田園芸・株式会社サンカ機工 (新屋敷) 第一産業株式会社 (上七見) 鈴木農産・駒橋本電機・奥村農産 (和屋) ススキ産機有限公司・溝口土建・井上組・有限会社安達建設 (26事業所)

### 子供たちと防犯青パト 小学生3年生が同乗体験

平成24年10月23日、26日の4日間小学生3年生を乗せ子供青パトロールを行いました。当日、田村会長より良い行いをする様守らなければならぬルール等の説明があり、パトロールに出発しました。子供達から見る防犯パトロール、喜びと不安の中、マイク片手に初めて体験をしました。上級生下級生の下校時を通り抜け自分達は良い見本となり、がんばりました。今後共、地域の子供達の安心、安全、まちづくりに役立つと思います。



### さかな救出作戦・救出篇 濁水期の水路から救出



この活動は、自然豊かな朝見地区の水路に生息する水生生物を濁水期で死滅する前に捕獲して春まで校庭内に作られた保護池で保護、観察を行う。また、朝見の子供達に自然との触れ合いを通して、生物への優しさや自分たちの地域の自然環境の素晴らしさを認識してもらおうと共に郷土愛を育む活動として朝見小学校と朝見まちづくり協議会と協働で実施をしている。

（三重県の「美しい国おこし」朝見の自然を考える会事業として実施しています）  
当日は地元住民の有志と朝見小学校1年生、2年生が参加した。三重県博物館学芸員の北村淳一氏と滋賀県立大学の皆川明子氏等が応援して魚の捕獲の仕方など説明、また捕獲された魚は（ドジョウ、フナ、タナゴ、メダカなど）を子供たちに説明して保護池に入れる。来春水路に水が来た頃に放流される。

【実施日】

日時 平成24年9月13日  
（木）午前9時から11時まで  
（雨天の時は20日に実施）  
集合 朝見小学校  
運動場・保護池



#### 【内容】

- 1 魚取りの説明、注意事項の説明
- 2 捕獲場所への移動（徒歩3分）
- 3 捕獲
- 4 保護池の前で救出した魚等の勉強しました。
- 5 救出後は校庭内の保護池に全員で放流。

#### 東部管内防災ネット

##### ワークを開催する。

平成24年9月27日（木）19:30朝見地区市民センターで開催。平成24年度初めての検討会となったが南海トラフの巨大地震を想定して、広域の減災対策が急がれる中東部管内6協議会が本年度内の協定締結を目的として協議を行う。協定書の3項目について意見交換を行い概ね原案同了解を或ることができたが協議内容によっては、今回の検討内容を各協議会に持ち帰り協議会で検討、承認を得たいと云うところ協議会の防災体制が整っていないので来年度（平成

25年度）まで協定を締結できない旨の意見が出され、東部管内防災ネットワーク協定の正式な締結式は平成25年度に行うことになった。

#### 三重県地方自治 研修センター視察

平成24年10月30日13時30分より朝見地区の防災の取り組みを視察したいと訪れる。次の文章は研修センターが発行する小冊子に写真と共に紹介される。

#### 朝見地区の概要

朝見まちづくり協議会  
松本市東部・榑田川左岸に位置する田園地帯である。  
世帯数 817世帯（自治会未加入58世帯）  
人口 2,248人 70歳以上人口 470人（高齢化率20.6%）  
農業を主体とし、田園の中に、10町の集落が点在している。ほとんどが調整区域となっており居住区域が広がらないため人口の増加が見込まれない。といった問題も抱えている。

#### 朝見まちづくり協議会の組織体制

朝見まちづくり協議会は、5つの部会から成り立っている。（防災部会、福祉部会、地域環境部会、防犯部会、青少年育成部会）また規約上連合自治会長が協議会の副会長に就くとして自治会にも密接な関わりをもっている。

#### 防災部会の活動

（1）防災訓練  
年に1度、地区全体での防災訓練を実施している。マンネリ化をしないように工夫を凝らしている。  
（学校と地域とが一体となるよう地区の小学生を交え

て行ったり、自主防災マニュアルを作成し、それに基づいた訓練を行うなど）  
（2）特徴的な取り組み  
地元企業（事業所）と災害協力協定を結んでいる。（現在26事業所と協力協定を結んでいる。）

防災訓練時に地区内の全住民の安否を確認するため「安否確認カード」を取り入れた。  
地区独自の自主防災マニュアルを作成し、訓練に使用している。

#### 今後の課題

（1）後継者不足  
協議会の中心である役員の高齢化が進んでおり、新たな担い手が必要となってきた。しかし、30代、40代の若い世代の参加が少なく、後継者となる人材が少ないのが現状である。

（2）地域企業（事業所）との災害協定について  
現在、朝見地区では26事業所との協定をむすんでいるが、災害発生時や防災訓練などで実際に動いてもらった時の燃料費や何か起こった時の保険などの取り扱いについて協議会だけでは対応が困難である。

#### 福祉部会事業

##### ウォーキング（散歩）

平成7年11月7日朝見地区市民センター2階会議室にて開催する。高齢化社会が進む中で健康に留意する人が多くなってきました。近年、朝見地区でも散歩をする人々が多くなりました。健康で楽しく元気な人生を送るためには持続的な努力が大切です。一人でする人、ジョギングをする人、犬の散歩を兼ねてする人、夜間に歩く

散歩する、など。どのような散歩が健康増進に効果的で良いのか考えてみたい！と思いついて開催する。（松本市健康推進課と共催）  
**朝見地区の幹線水路  
美化清掃を実施する。**  
平成24年10月21日  
（日）午前8時からあさみ地区内を流れる第1、3号用水路の清掃美化作業を10町が一斉に行う。土砂類と燃えるゴミ等に分類して処分を行いました。



（新屋敷町）



（古井町）



（西野々町）

PR

安心安全のまちづくり・セーフコミュニティ

# 朝見まちづくり協議会

子どもから大人までみんなでつくる朝見！